

冬タイヤ装着率 97.0%

～秋田県内の直轄国道峠部3地点で調査（11/24 実施分）～

地点ごとの装着率

国道46号	仙岩峠付近（野中交差点）	94.0%	（前回97.0%）
国道13号	雄勝峠付近（新万石橋交差点）	98.0%	（前回98.0%）
国道7号	矢立峠付近（白沢交差点）	99.0%	（前回94.0%）
3地点の平均		97.0%	（前回96.5%）

※各調査地点毎に四捨五入しているため、3地点の平均値と合わない場合があります。
 ※過去の装着率については、別添をご覧ください。

調査趣旨

秋田県内では、11月に入ると降雪や朝夕の気温低下により、路面が滑りやすくなり、夏タイヤ使用によるスリップ事故や、走行不能に陥る車両、ノロノロ運転による渋滞発生などが非常に多くなります。

その対策として、平成16年度から初冬期の11月を「冬タイヤ装着月間」として早期の冬タイヤ装着を促す運動を実施してきたところです。

本運動の一環として、平成23年度から11月の毎週はじめに「冬タイヤ装着率調査」を実施し、その結果を広くお知らせすることにより、冬タイヤの早期装着を啓発しています。

上記装着率は抽出データです。

装着率が100%近くまで達したことから、今回の調査をもって装着率調査を終了いたします。

ご協力ありがとうございました。

冬タイヤ装着で安全で確実な冬道運転を！



【発表記者会】

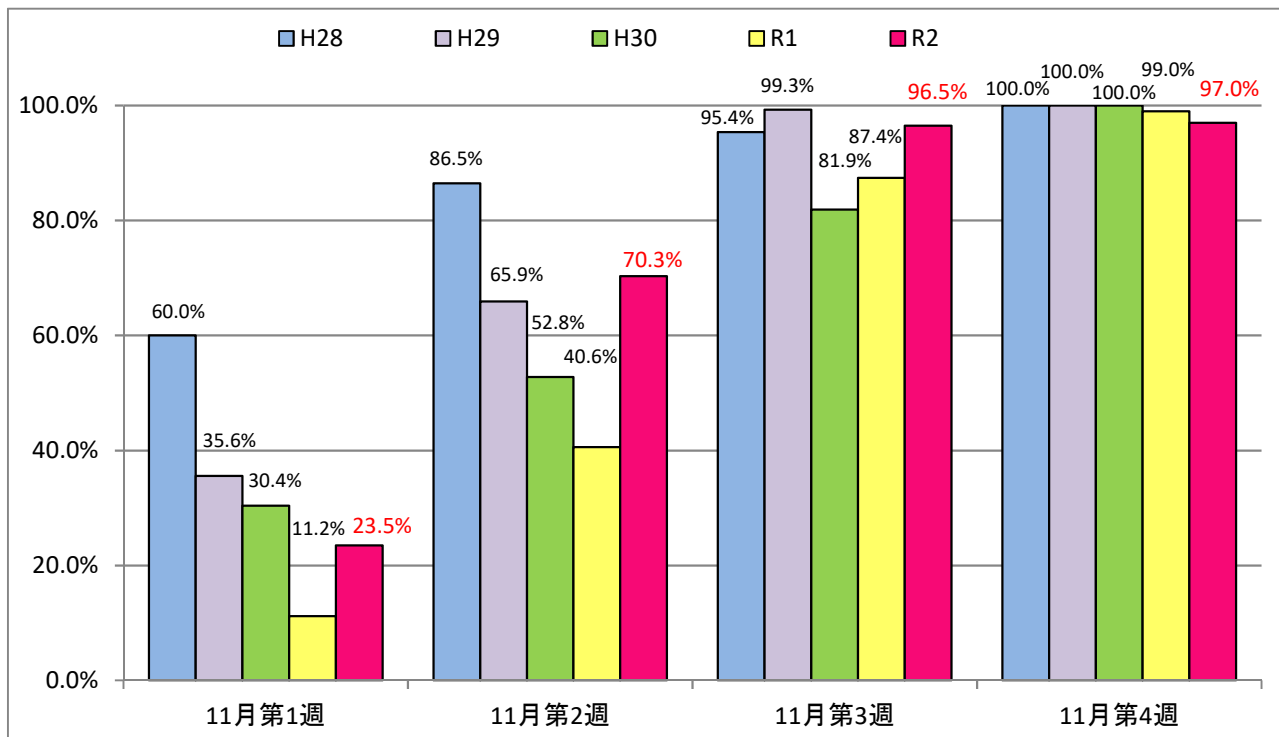
秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局、秋田民報、秋田建設工業新聞社、建設新聞社秋田支局、能代記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先

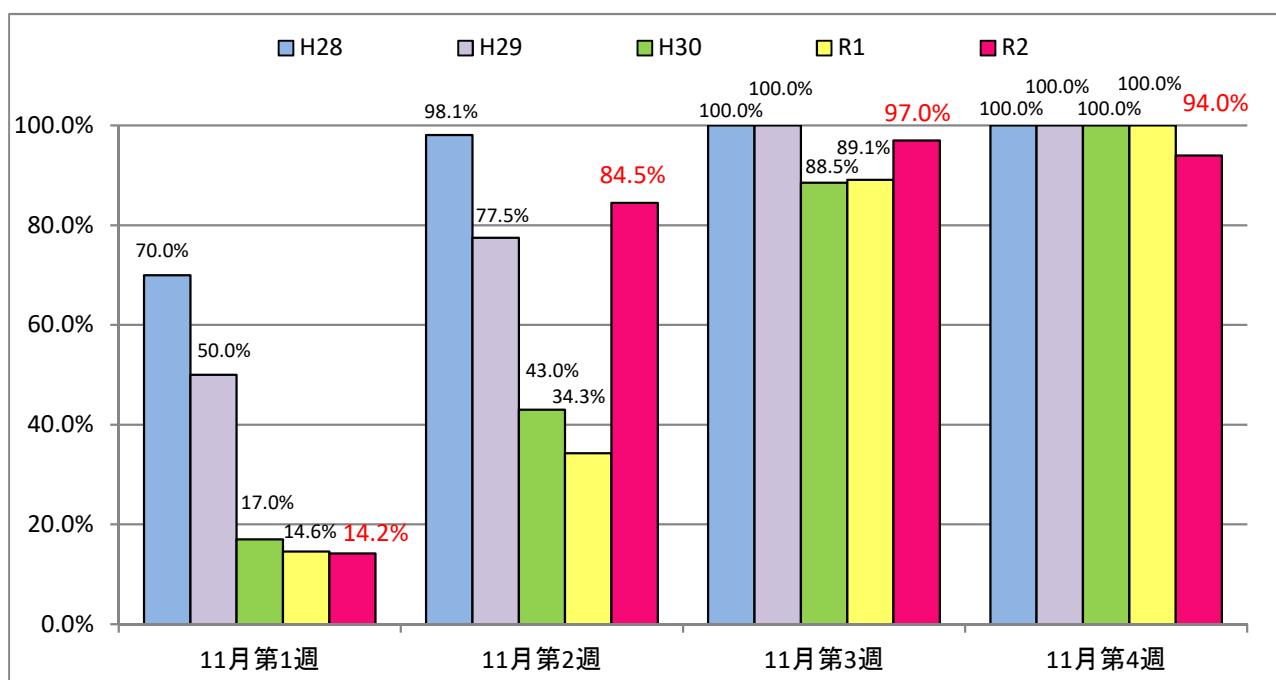
国土交通省 東北地方整備局	
秋田河川国道事務所 電話	018-823-4167（代表）
	いがらし かずゆき
副所長（道路）	五十嵐 一之（内線205）
湯沢河川国道事務所 電話	0183-73-3174（代表）
	おかもと まもる
副所長（道路）	岡本 守（内線205）
能代河川国道事務所 電話	0185-70-1001（代表）
	さとう こうき
副所長（道路）	佐藤 幸喜（内線205）

○冬タイヤ装着率【平成28年度～令和2年度の比較】

【3地点合計】

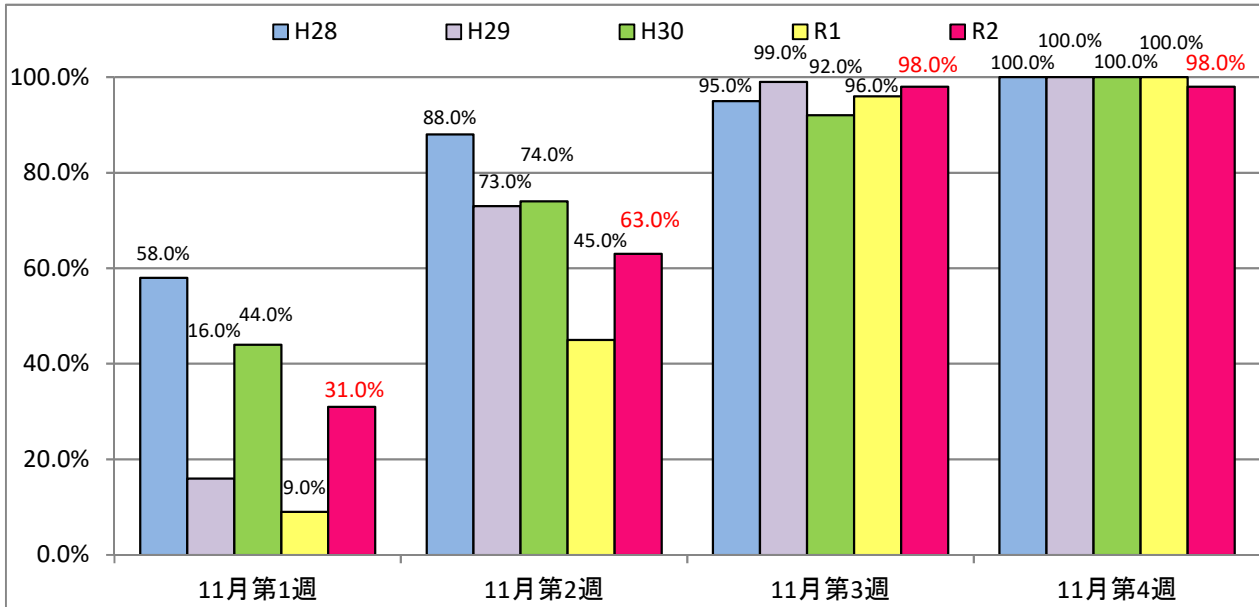


【R46 仙岩峠】

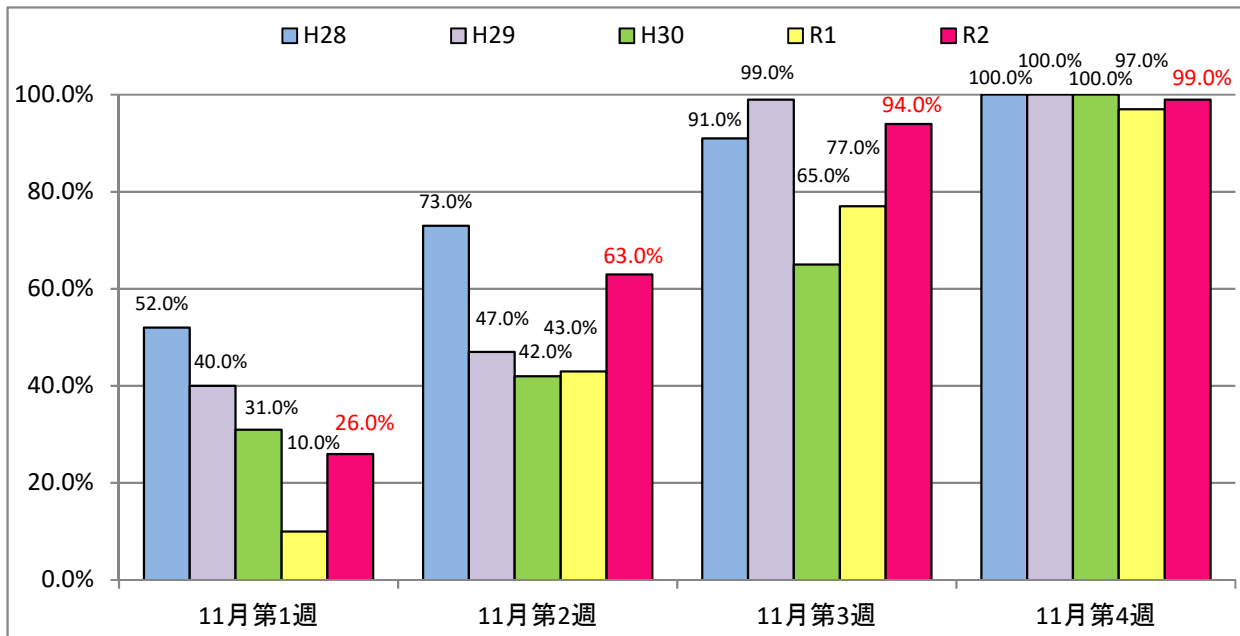


○冬タイヤ装着率(平成28年度～令和2年度の比較)

【R13 雄勝峠】



【R7 矢立峠】



※調査方法について

本調査は、3地点の交差点部において1地点につき概ね100台、信号で停車している車両を確認し、冬タイヤ等(全車輪に滑り止めの性能を有するタイヤ又はチェーンを取り付ける等、滑り止めの措置を講じている車両)を装着している車両をカウントしています。

「冬タイヤ装着率」とは、冬タイヤ等を装着している車両を全調査車両(普通車や大型車の合計)で除法算出しています。